



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日
東

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所
 コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江原 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 田邊 和宏 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	73,156	12.0	7,244	35.1	9,444	35.8	6,252	37.3
2023年3月期第1四半期	65,323	9.1	5,363	△22.7	6,955	△1.1	4,553	△8.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,999百万円(26.9%) 2023年3月期第1四半期 7,882百万円(56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	50.05	—
2023年3月期第1四半期	35.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	250,596	186,470	70.6
2023年3月期	239,095	182,686	72.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 176,891百万円 2023年3月期 174,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	52.00	52.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	293,000	4.9	24,000	7.9	23,500	0.2	15,000	1.5	120.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 1社(社名) Calbee North America, LLC

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	133,929,800株	2023年3月期	133,929,800株
2024年3月期1Q	8,998,256株	2023年3月期	9,005,241株
2024年3月期1Q	124,926,999株	2023年3月期1Q	129,121,355株

(注)期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております(2024年3月期第1四半期 235,845株、2023年3月期 242,865株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2024年3月期第1四半期 240,396株、2023年3月期第1四半期 263,265株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2024年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数124,930,414株により算定しております。
- 当社は、2023年8月3日(木)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主として国内事業が貢献し、73,156百万円（前年同期比12.0%増）となりました。国内事業の売上高は55,201百万円（前年同期比14.4%増）となりました。価格・規格改定効果に加え、人流の増加により土産用製品やカップなど携行性の高い製品が伸長しました。また、前年上期のばれいしょ不足による販売調整が解消したことも増収に寄与しました。海外事業は、前年7月からタイのGreenday Global社（スナック菓子の製造・販売）を連結子会社化したこと、および価格・規格改定効果と人流の回復や配荷拡大等によるスナック菓子の拡販により、17,955百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

営業利益は7,244百万円（前年同期比35.1%増）となり、売上高営業利益率は9.9%（前年同期比1.7ポイント上昇）となりました。数量増および価格・規格改定効果が原材料や動力費の継続的なコスト上昇を吸収し、増益となりました。円安の進行に伴う為替差益の計上により、経常利益は9,444百万円（前年同期比35.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,252百万円（前年同期比37.3%増）となりました。

事業別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
国内食品製造販売事業	48,233	55,201	+14.4
国内スナック菓子	43,972	51,146	+16.3
国内シリアル食品	6,648	6,655	+0.1
国内その他	2,865	3,262	+13.9
リベート等控除	△5,253	△5,862	—
海外食品製造販売事業	17,090	17,955	+5.1
食品製造販売事業 計	65,323	73,156	+12.0

* 「国内スナック菓子」「国内シリアル食品」「国内その他」の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

(食品製造販売事業)

食品製造販売事業は、国内事業、海外事業ともに前年同期比で増収となりました。

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子は、前年同期比で増収となりました。

製品別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテトチップス	19,440	22,920	+17.9
じゃがりこ	9,536	10,489	+10.0
その他スナック	14,995	17,736	+18.3
国内スナック菓子 計	43,972	51,146	+16.3

*1 製品別の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

*2 前期の「新価値製品・その他スナック」を当期より「その他スナック」に名称変更しています。

・ポテトチップスは、「うすしお味」等の定番品や「堅あげポテト」の強い需要に加えて、期間限定品が貢献し、前年同期に比べ増収となりました。

・じゃがりこは、外出先での需要の高まりや期間限定パッケージによるプロモーションが奏功し、定番品の売上が拡大したことで、前年同期に比べ増収となりました。

- ・その他スナックは、国内旅行やインバウンド需要の回復により「じゃがポックル」等の土産用製品が伸長するとともに、小麦系スナックの売上も堅調に推移し、前年同期に比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、シリアル市場全体が減少傾向の中、オリジナルや糖質オフ等が前年実績を維持したことにより、6,655百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

・国内その他

国内その他の売上高は、甘しょ事業の卸販売が好調に推移し、3,262百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

(海外食品製造販売事業)

海外食品製造販売事業は、前年同期比で増収となりました。

地域別売上高は以下のとおりです。

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
北米	5,588	5,669	+1.4	△5.2
中華圏	5,637	5,108	△9.4	△10.6
その他地域	8,190	9,567	+16.8	+11.9
リベート等控除	△2,326	△2,390	—	—
海外食品製造販売事業 計	17,090	17,955	+5.1	+0.5

*1 中華圏：中国、香港

*2 その他地域：英国、インドネシア、韓国、タイ、シンガポール、豪州

*3 地域別の売上高はリベート等控除前の金額を記載しています。

- ・北米は、豆系スナック「Harvest Snaps」の改定効果や「えびせん」等の日本発製品の需要増が貢献したものの、スナック菓子の受託製造の売上が減少し、前年同期に比べ現地通貨ベースで減収となりました。
- ・中華圏は、スナック菓子、シリアル食品ともに前年同期に比べ減収となりました。前年第1四半期はロックダウン時のEコマース需要が大きかったことや、在庫調整で一時的に受注が減少したことも影響しました。
- ・その他地域は、英国、インドネシア、タイで販売が伸長したことにより、前年同期に比べ増収となりました。英国では、Seebrookブランドのポテトチップスの配荷拡大や新製品「Crinkles」の発売が貢献しました。インドネシアではポテトチップスや4層構造のスナック菓子「Guribee」が伸長しました。タイにおいては、人流の回復が小麦系スナック等の拡販に繋がりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ11,500百万円増加し、250,596百万円となりました。この主な要因は、営業利益の増益が寄与して現金及び預金が増加したこと、および有形固定資産が増加したことによるものです。有形固定資産の増加の主なものは、じゃがりこ製造設備の新設および広島新工場の建設です。

負債は、前連結会計年度末に比べ7,716百万円増加し、64,125百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,784百万円増加し、186,470百万円となりました。この主な要因は、円安の進行により為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は70.6%となり、前連結会計年度末に比べ2.2ポイント低下しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6,882百万円増加し、37,175百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益が増加したことにより、7,796百万円の純収入となり、前年同期と比べ2,965百万円収入が増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出が増加したこと、および有価証券の償還による収入が減少したことにより、6,332百万円の純支出となり、前年同期と比べ7,467百万円支出が増加しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の純増減額が増加したことにより、4,137百万円の純収入となり、前年同期と比べ10,222百万円収入が増加しました。

(資本の財源及び資金の流動性に係る情報)

・資金需要の動向

当社グループの資金需要は、営業活動に係る資金支出では製品製造のための原材料費、労務費、経費および販売活動のための販売費、人件費、物流費等の支払いがあります。投資活動に係る資金支出では主に設備投資や成長投資にかかる資金需要、財務活動に係る資金支出は主に親会社の配当金にかかる資金需要があります。これらの資金需要に対しては、成長戦略「Change2025」に基づき、2024年3月期～2026年3月期の3カ年で創出する営業活動によるキャッシュ・フローに加えて、手元資金等や借入金を活用する計画です。

資金需要の具体的な内容

成長投資…国内外の事業成長のための設備投資および新規領域投資、海外基盤強化のためのM&A等

効率化投資…ESG対応、自動化・省人化等の生産性向上のための設備投資

株主還元…連結ベースの総還元性向50%以上、DOE 4%目途

当第1四半期連結会計期間末時点での資金支出の状況は以下のとおりです。

	2024年3月期 第1四半期 (百万円)	3ヵ年計画 (2024年3月期~2026 年3月期) (百万円)	進捗率 (%)
成長投資	2,111	80,000	2.6
効率化投資	4,301	60,000	7.2
株主還元	6,378	25,000	25.5
合計	12,791	165,000	7.8

・資金調達の方法

当社グループの資金調達の方法としては、営業活動により得られたキャッシュ・フローに加えて金融機関からの借入金等を活用します。当社及び国内連結子会社においてはキャッシュ・マネジメント・システム（CMS）を導入し、グループ内資金を一元管理することにより、余剰資金を集中管理し資金の流動性確保、資金効率の向上を図っております。また、更なる資金の流動性を補完することを目的に複数の金融機関との間に当座貸越契約を締結しており、事業運営上の必要な資金の流動性は十分に確保していると認識しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月9日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,167	39,085
受取手形及び売掛金	37,121	35,951
棚卸資産	23,352	23,814
その他	6,439	5,653
貸倒引当金	△110	△122
流動資産合計	98,970	104,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,574	35,048
機械装置及び運搬具（純額）	31,758	31,721
土地	16,330	16,502
建設仮勘定	16,796	21,193
その他（純額）	2,074	2,182
有形固定資産合計	101,533	106,648
無形固定資産		
のれん	23,222	23,738
その他	2,709	2,703
無形固定資産合計	25,932	26,441
投資その他の資産		
投資その他の資産	12,659	13,125
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,658	13,124
固定資産合計	140,124	146,214
資産合計	239,095	250,596

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,553	13,245
短期借入金	1,290	11,706
未払法人税等	3,702	2,440
賞与引当金	5,398	2,524
役員賞与引当金	99	55
株式給付引当金	37	37
その他	21,581	23,275
流動負債合計	45,663	53,286
固定負債		
役員退職慰労引当金	323	283
役員株式給付引当金	297	302
退職給付に係る負債	7,523	7,355
資産除去債務	748	750
その他	1,853	2,148
固定負債合計	10,745	10,839
負債合計	56,408	64,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,046	12,046
資本剰余金	3,242	3,242
利益剰余金	178,329	178,072
自己株式	△24,886	△24,861
株主資本合計	168,730	168,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	488	576
為替換算調整勘定	5,225	8,190
退職給付に係る調整累計額	△332	△375
その他の包括利益累計額合計	5,381	8,391
非支配株主持分	8,574	9,579
純資産合計	182,686	186,470
負債純資産合計	239,095	250,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	65,323	73,156
売上原価	44,197	48,747
売上総利益	21,126	24,408
販売費及び一般管理費	15,763	17,164
営業利益	5,363	7,244
営業外収益		
受取利息	26	73
受取配当金	19	23
持分法による投資利益	3	37
為替差益	1,559	2,029
その他	53	115
営業外収益合計	1,662	2,278
営業外費用		
支払利息	26	48
減価償却費	25	20
その他	19	8
営業外費用合計	70	77
経常利益	6,955	9,444
特別利益		
固定資産売却益	5	0
助成金受入益	51	—
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	28	—
その他	0	0
特別利益合計	85	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	123	43
その他	0	0
特別損失合計	124	43
税金等調整前四半期純利益	6,916	9,401
法人税、住民税及び事業税	1,548	2,228
法人税等調整額	688	750
法人税等合計	2,237	2,979
四半期純利益	4,679	6,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	125	169
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,553	6,252

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,679	6,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	87
為替換算調整勘定	3,262	3,532
退職給付に係る調整額	△32	△43
その他の包括利益合計	3,203	3,577
四半期包括利益	7,882	9,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,224	9,262
非支配株主に係る四半期包括利益	658	737

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,916	9,401
減価償却費	2,442	2,528
のれん償却額	476	508
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,485	△2,888
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△46
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1	30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△101	△248
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△54	△59
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27	△39
受取利息及び受取配当金	△46	△96
支払利息	26	48
為替差損益(△は益)	△1,438	△1,993
持分法による投資損益(△は益)	△3	△37
固定資産売却損益(△は益)	△4	0
固定資産除却損	123	43
売上債権の増減額(△は増加)	1,045	2,025
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,555	21
仕入債務の増減額(△は減少)	511	△687
未払金の増減額(△は減少)	△521	△879
その他	3,501	3,528
小計	8,781	11,164
利息及び配当金の受取額	38	95
利息の支払額	△20	△48
法人税等の支払額	△3,968	△3,415
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,831	7,796

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,559	△6,217
有形固定資産の売却による収入	4	0
無形固定資産の取得による支出	△239	△195
有価証券の取得による支出	△5,000	—
有価証券の償還による収入	9,000	—
投資有価証券の取得による支出	△92	△1
定期預金の預入による支出	△340	△1,043
定期預金の払戻による収入	339	1,128
差入保証金の差入による支出	△9	△11
差入保証金の回収による収入	28	7
その他	3	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,135	△6,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	10,300
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	445	279
配当金の支払額	△6,571	△6,378
非支配株主への配当金の支払額	△16	△15
リース債務の返済による支出	△41	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,084	4,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,315	1,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,197	6,882
現金及び現金同等物の期首残高	49,670	30,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,868	37,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。